

第272回 令和8年7月15日（水）

「ちょっと不思議な話」

私は学生時代、家に母方の祖父母が同居していたのですが、あるとき長く闘病していた祖父が亡くなりました。我が家は特に信奉している宗教はありませんでしたが、祖母が母親に「夢に祖父が出てきて、今どこにいるのかと聞いたらハツカクにいと答えた。ハツカクとは何のことか、お寺さんに聞いてみてくれ」と真剣な表情で頼んでいました。

母も困っていましたが、祖母があまりに頼むのでお世話になっている和尚さんに聞いてみました。そうしたら「八角は仏教において「最高の聖地」や「完全なる悟り」を意味する言葉だ」と言われて驚いたことを記憶しています。

法隆寺夢殿は「八角形」なのですが、仏様の慈悲が世界全てに広がっていることを「東西南北とその間の8方向」を意味する「四方八方」というのだそうです。偶然ですが私の高校時代のユニフォームの背番号も「8」で、なにかと験のいい数字だと感じています。

祖母が八角のことを聞いた記憶が潜在的に脳裏に残っていたのかもしれませんが、死んだ祖父が幸せな場所に旅立ったと思うならば良いことだったと思います。

夢で見たことが現実にかかる場合、その多くは偶然であると考えられています。人間は多くの情報を日々受け取っており、それを夢の中でランダムに組み合わせています。その結果、現実で似たようなことが起きると「夢が予知した」と感じる場合があります。

また夢の中では、これまでに得た経験や記憶、知識が無意識のうちに結び付けられ、将来的に起こり得る状況を予測する場合があります。

「デジャヴ（既視感）」とは、現実起きたことが既に見たことがあるように感じる現象のことです。人間は記憶を正確に記録しているわけではないため、現実で起きたことが「夢で見た」と錯覚する場合があります。

心理学では、夢は潜在意識（無意識）の表れだとされています。夢の中で象徴的な出来事が映し出され、それが現実の行動や選択に影響を与えることがあります。この場合、自分の潜在意識が現実に変化を引き起こしたとも言えます。

スピリチュアルの分野では、夢が「予知夢」として未来を伝える役割を果たす場合があると考えられています。この考え方では、夢が人間の高次の意識や宇宙のエネルギーとつながり、未来の出来事を象徴的に示すことがあると言われています。

真実はわかりませんが、何もかも科学的に解明される必要もないと思っています。それこそ夢があって良いのではないのでしょうか。